

事案一覧表

鉄道局 鉄道事業課
旅客輸送業務監理室
平成27年10月15日

申請種別	申請年月日 受付年月日	申請者名	申請内容
鉄道の特別急行料金の上限設定の認可	平成27年10月13日 平成27年10月13日	北海道旅客鉄道株式会社	北海道新幹線（新青森・新函館北斗間）の開業に伴う特別急行料金の上限設定の認可
備考			平成28年3月26日開業予定

北海道新幹線（新青森・新函館北斗間）特別急行料金の
 上限設定の認可に係る運輸審議会説明資料目次

①北海道新幹線（新青森・新函館北斗間）の概要について・・・	P. 1
②既設新幹線及び整備新幹線の現状・・・・・・・・・・・・・・・・	P. 2
③北海道新幹線のルート概要	P. 3
④北海道新幹線（新青森～新函館北斗間）の開業に伴う特別急行 料金の上限設定認可申請について・・・・・・・・・・・・・・・・	P. 4
⑤北海道新幹線（新青森～新函館北斗間）に関わる新幹線特急料 金の設定の考え方について・・・・・・・・・・・・・・・・	P. 5
⑥北海道新幹線の原価計算書について・・・・・・・・・・・・・・・・	P. 6
⑦北海道新幹線（新青森～新函館北斗間）の運賃について・・・	P. 7
⑧北海道新幹線開業後と現行ルート及び航空機との比較・・・	P. 8

関連資料

・各駅の概要	P. 1
・整備新幹線の貸付料について	P. 4
・北海道新幹線の特急料金等について（JRプレス資料）	P. 5
・北海道新幹線で使用する主な保守用車等の導入について （JRプレス資料）	P. 16
・北海道新幹線 新青森～新函館北斗間開業に伴う運行計画の概要に ついて（JRプレス資料）	P. 19
・北海道新幹線の新型車両について（JRプレス資料）	P. 21
・北海道新幹線の並行在来線区間（道南いさりび鉄道路線図）	P. 23

北海道新幹線（新函館北斗・新青森間）の概要について

1. 開業区間の概要

(1) 区間、営業キロ、営業主体

新函館北斗～新青森間 148.8km JR北海道

(2) 軌間、単複線の別 1,435mm 複線

(3) 最高設計速度 260km/h

2. 経緯

昭和47年 6月 北海道新幹線（青森市～札幌市間）の基本計画決定

昭和48年11月 北海道新幹線（青森市～札幌市間）の整備計画決定

〃 日本鉄道建設公団に対して北海道新幹線の建設を指示

平成17年 4月 北海道新幹線（新青森～新函館（仮称）間）着工

平成28年 3月 北海道新幹線（新青森～新函館北斗間）開業予定

3. 開業予定日等

(1) 開業予定日 平成28年3月26日（土）

(2) 列車運行等

○運転本数：13本/日

・「はやぶさ」東京～新函館北斗間直通列車 10往復/日

・「はやぶさ」仙台～新函館北斗間直通列車 1往復/日

・「はやて」盛岡～新函館北斗間直通列車 1往復/日

・「はやて」新青森～新函館北斗間運転列車 1往復/日

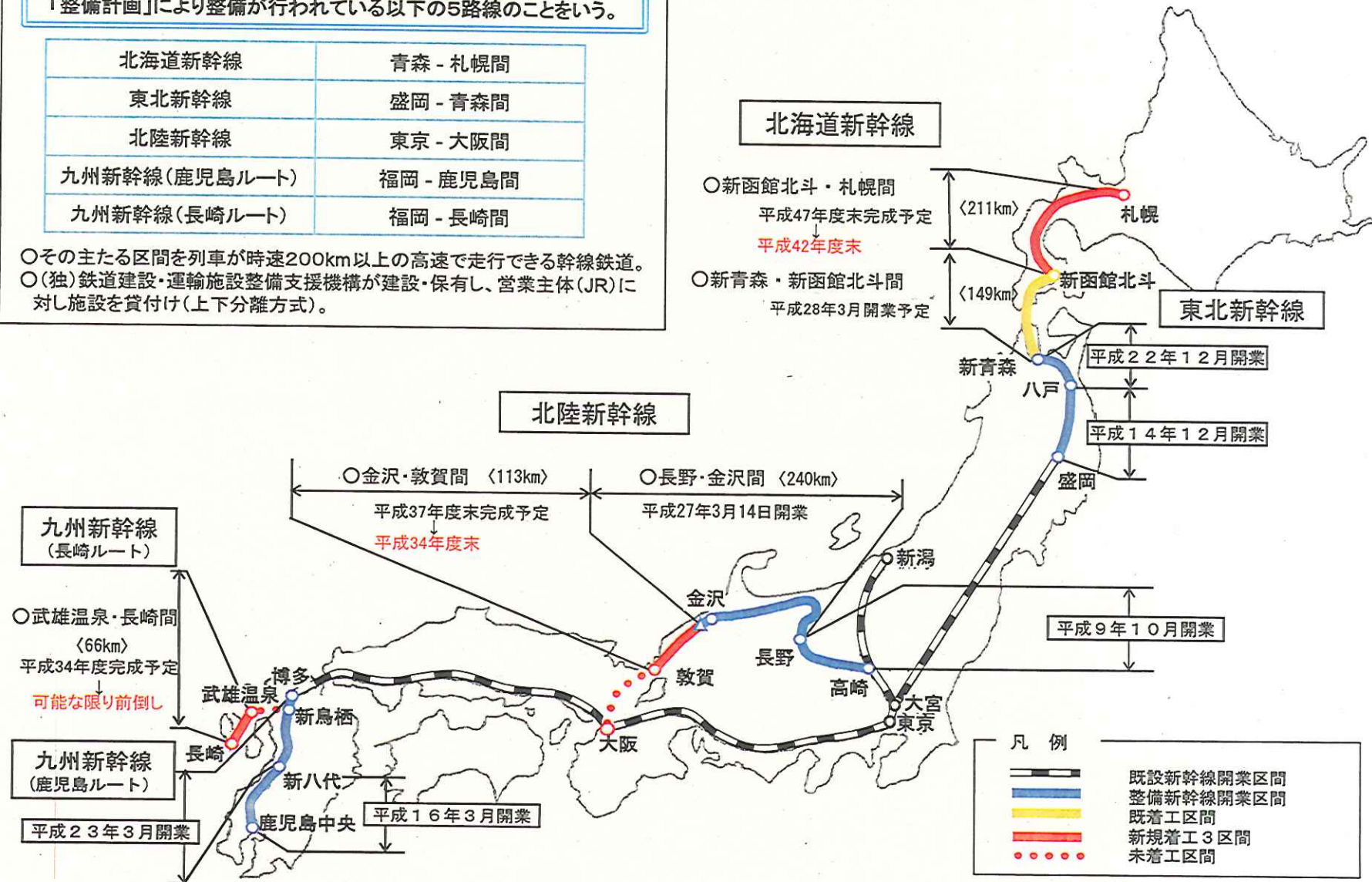
○編成：H5系・E5系 10両編成

既設新幹線及び整備新幹線の現状

整備新幹線とは、「全国新幹線鉄道整備法」に基づく昭和48年の「整備計画」により整備が行われている以下の5路線のことをいう。

北海道新幹線	青森 - 札幌間
東北新幹線	盛岡 - 青森間
北陸新幹線	東京 - 大阪間
九州新幹線(鹿児島ルート)	福岡 - 鹿児島間
九州新幹線(長崎ルート)	福岡 - 長崎間

- その主たる区間を列車が時速200km以上の高速で走行できる幹線鉄道。
- (独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構が建設・保有し、営業主体(JR)に対し施設を貸付け(上下分離方式)。



北海道新幹線（新青森～新函館北斗間）の開業に伴う 特別急行料金の上限設定認可申請について

1. 申請者等

- ①申請者 北海道旅客鉄道株式会社 代表取締役社長 島田 修
- ②会社所在地 北海道札幌市中央区北11条西15丁目1番1号

2. 申請の内容

(1) 設定しようとする料金の上限を適用する路線

北海道新幹線

(2) 設定しようとする料金の上限の種類

特別急行料金

(3) 設定しようとする料金の上限の額

特別急行料金（自由席又は立席特急料金）

(単位:円)

	新 青 森	奥津軽いまべつ	木 古 内
奥津軽いまべつ	1, 990		
木 古 内	3, 930	1, 990	
新函館北斗	3, 930	3, 930	1, 990

3. 実施予定日 平成28年3月26日

4. 申請の理由

平成28年3月26日に北海道新幹線新青森・新函館北斗間が開業となり、新幹線特別急行列車による運転を計画している。これに伴い、開業区間に関わる料金を新たに設定したいとして申請に及んだものである。

北海道新幹線（新青森・新函館北斗間）に関わる新幹線特急料金の設定の考え方について

認可申請がなされた特急料金水準・体系

料金水準

- 料金水準は、東北新幹線とは異なるJR北海道独自の水準を適用。
- 具体的には、収支率の見込み、北海道新幹線固有のコスト、時間的価値の向上、航空の実勢運賃水準等を総合的に勘案して設定。
- 短距離区間の割高感を軽減するため、隣の駅間や2駅間のみを乗車する場合の割引も実施。

料金体系

- 東北新幹線との通算方式ではなく、併算方式。

（注）通算方式：乗車全区間に1つの連続した特急料金を設定する方式

併算方式：乗車区間を路線ごとに区分し、別個に特急料金を設定する方式

- ・北海道新幹線は、東北新幹線とは別個の新幹線路線。
- ・これまでも、別個の新幹線路線を跨がる特急料金には、併算方式を採用。

（参考）既存の特急料金水準との比較

距離	東北新幹線	北海道新幹線		
	特急料金	特急料金	駅名	距離
～100	1,840	1,990	奥津軽いまべつ	～100
～200	2,590	3,930	木古内	～200
			新函館北斗	

原価計算書その他の旅客運賃等の上限の額の算出の基礎を記載した書類

(単位:百万円)

項目	平成27年度 (開業初年度)	平成28年度 (2年目)	平成29年度 (3年目)	平成30年度 (4年目)	平成28～30年度	
					計	平年度平均
運賃収入	62	3,787	3,897	4,010	11,694	3,898
料金収入	110	6,701	6,895	7,095	20,691	6,897
運輸雑収	6	341	343	344	1,028	343
収入計 (A)	178	10,829	11,135	11,449	33,413	11,138
人件費	59	3,576	3,576	3,576	10,728	3,576
経費	129	7,818	7,865	7,912	23,595	7,865
貸付料	6	450	1,180	1,097	2,727	909
減価償却費	302	3,871	3,228	2,698	9,797	3,266
諸税	0	16	147	122	285	95
事業報酬	0	294	265	235	794	265
支出計 (B)	496	16,025	16,261	15,640	47,926	15,976
差引損益 (A-B)	△318	△5,196	△5,126	△4,191	△14,513	△4,838
収支率 (A/B)	35.9%	67.6%	68.5%	73.2%	69.7%	69.7%

北海道新幹線（新青森・新函館北斗間）の運賃について

北海道新幹線（新青森・新函館北斗間）は並行する在来線の一部が経営分離されるため、新幹線は建設キロに基づき、新たに駅間の営業キロを設定することとし、同区間の運賃は、北海道新幹線の開業区間に結節する函館線に既に設定されている幹線運賃を適用することとしている。

なお、「鉄道事業法の一部改正に伴う旅客の運賃及び料金の設定等に係る取扱いの簡素化について」の通達により、新規開業等による運賃等の設定に当たり、新規開業等区間に隣接する区間に適用されている運賃等を適用する場合は、運賃等の設定に当たらないものとして取り扱うこととし、地方運輸局長への事前報告事項となっている。

(参考)

「鉄道事業法の一部改正に伴う鉄道の旅客の運賃及び料金の設定等に係る取扱いの簡素化について（平成12年3月1日 鉄業第16号）」(抜粋)

以下の場合、運賃等の設定等に当たらないものとして取り扱うこととし、鉄道事業法第55条第1項及び鉄道事業等報告規則第3条第1項に基づき報告を要するものとする。

- (1) 新規開業又は線路振替による運賃等の設定に当たり、新規開業等区間に隣接する区間に適用されている運賃等を適用する場合

○新青森・新函館北斗間（148.8キロ）の駅間の営業キロ等について

(単位：キロ)

	新青森	奥津軽 いまべつ	木古内	新函館 北 斗
駅間営業キロ	38.5	74.8	35.5	
東京から	713.7	752.2	827.0	862.5

北海道新幹線開業後と現行ルート及び航空機との比較

	東京～函館	営業キロ(km)	所要時間	運賃+料金(指定席)(円)
現行	東北新幹線+在来線 (「東北新幹線」+「白鳥号」)	878.0	5:22	20,200
開業後	東北新幹線+北海道新幹線+在来線 (はやぶさ号)	880.4	4:37	23,010

※ 開業後の所要時間には、新函館北斗の乗継(10分で仮定)、新函館北斗～函館間の所要時間(18分で仮定)を含む。

	東京～函館	所要時間	運賃(円)	
参考	東京～羽田 ⇄ 函館空港～函館	3:00	正規	35,200
			割引(平均)	26,831
			割引(最安値)	16,600

※1 航空機の所要時間には、駅～空港までの所要時間(東京駅～羽田空港30分、函館空港～函館駅(20分)及びチェックイン・搭乗・降機等の時間(40分)を含む。

※2 運賃はANAのものを記載。

※3 航空の割引は、平成27年度(平成28年3月26日搭乗分まで)割引運賃の平均値である。

※4 割引(最安値)は、恒常的ではなく、期間限定・便限定のもの。